

- ・日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒等に対し、適切な教育の機会を提供するとともに、学校生活への円滑な順応を促進する。
- ・県内に散在する日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒等に対し、広範囲での支援を提供する。

【和歌山県の現状・課題】

- ・本県における帰国・外国人児童生徒等は今後増加が見込まれており、受入れから卒業後の進路まで一貫した指導・支援体制を構築していく必要がある。
- ・ある程度日常会話ができるようになっていても、学習言語が不十分なため学習についていくことができず、進路選択に不安を抱える生徒もいると考えられる。
- ・来日直後の日本語指導を含む初期指導を充実させることが重要ではあるが、当該児童生徒が県内に散在しており、集めて指導することが難しい。
- ・日本語指導教員の数を必要に応じて増やしていきたいが、指導者不足や多様な外国由来の児童生徒への対応等、支援体制の構築が難しい。

【本県の取組】

オンラインによる日本語指導の授業を配信し、日本語を集中的に学習する機会を提供することで、円滑な就学に向けた帰国・外国人児童生徒等への支援体制を整備する。

義務教育課

委託

受講を申請

市町村教育委員会

- 受講生取りまとめ
- 日本語指導担当教員の配置

- 「特別の教育課程」による日本語指導の実施
- 学力保障等に係る補充学習の実施

日本語指導の専門性を有する団体

日本語授業・学習支援

受講生の日本語能力測定
受講に当たっての学校、保護者への説明

日本語指導の必要な児童生徒が在籍している学校に対し、オンラインで授業の配信等を行う。

A 学校

B 学校

C 学校

【成果】

- ・どの地域に居住しても、適切な日本語教育を受けることができ、自己実現を図ることができる。
- ・児童生徒の学力を高め、希望する進路を選択することができる。
- ・日本語指導担当教員の指導技術を高める。

「特別の教育課程」による日本語指導を行っている小中学校の割合

R6 56% → R7 60%